

地域住民コホート調査参加者における総死亡および死因別死亡の関連要因に関する研究

1. 研究の対象

2013年4月1日～2016年3月31日までに岩手県および宮城県の集団健診会場で東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査に参加された方

2. 研究期間

研究実施許可後～2027年3月31日まで

3. 研究目的・方法

【研究目的】

この研究の目的は、東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査参加者の総死亡及び死因別死亡に関連する要因を明らかにすることです。

【研究方法】

東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査（TMM 地域住民コホート調査）では、東日本大震災・大津波による長期的健康影響を明らかにすることを目的として、調査参加者を対象として死亡情報の追跡を行っています。

本研究では TMM 地域住民コホート調査参加者のうち、健診参加型リクルートでリクルートされた参加者約 6.7 万人のベースライン調査データと 2021 年度末までの住民異動情報データ、及び、人口動態調査死亡票データを用いて、総死亡と死因別死亡の関連要因を適切な生存分析（Kaplan-Meier 法、Cox 比例ハザードモデル等）によって明らかにします。特に本研究では東日本大震災・津波災害後の生活環境や生活習慣の変化に伴い悪化が確認されている要因に着目し、被災状況の他に、社会心理的因子（抑うつ、睡眠障害、家族構成）、循環器疾患危険因子（BMI、尿中ナトリウム／カリウム比、腎機能）と総死亡及び死因別死亡との関連を検討します。

4. 研究に用いる試料・情報

TMM 地域住民コホート調査参加者のうち、健診参加型リクルートでリクルートされた参加者約 6.7 万人のベースライン調査データ（特に被災状況、社会心理的因子、循環器疾患危険因子）、2021 年度末までの住民異動情報データ（総死亡）、人口動態調査死亡票データ（死因）。ゲノム情報は含みません。

本研究で取得した上記の試料・情報は、研究終了後も東北メディカル・メガバンク計画のバイオバンクに永久に保管いたします。また、上記の試料・情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で用いる情報は、匿名化した上で、高度なセキュリティと厳正なアクセス管理が担保されたコンピュータ内に限定して管理します。また、分譲された情報は、いわて東北メディカル・メガバンク機構のセキュリティポリシーに沿ってネットワークから切り離されたスタンドアロンの環境でのみ解析します。

6. 研究組織

共同研究機関

東北大学東北メディカル・メガバンク機構

寶澤 篤

中谷 直樹

小暮 真奈

畑中 里衣子
中谷 久美
千葉 一平

7. 研究費および利益相反

研究費は医療研究開発推進事業費補助金および衛生学公衆衛生学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岩手県紫波郡矢巾町医大通 1-1-1

岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構

TEL 019-651-5111（内線 5775）

担当者名 丹野 高三

研究責任者：

岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 機構長 丹野 高三

研究代表者：

岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 機構長 丹野 高三

-----以上